

《計畫》



第26回『山歩きを楽しむ会』のご案内

～再チャレンジ 新緑の高尾山をみんなで登る～

昨年秋の山歩きが天候不順のため中止となりました。今回は再度高尾山にチャレンジします。麓から山頂まで沢沿いの6号路(琵琶滝コース)を登り、山頂で昼食をとった後、ケーブルカーで下山します。全体として体への負担が少なく、新緑の山を楽しむことができます。ふるってご参加ください。

1. 開催日 5月9日(火) 雨天中止
2. 集合 京王線「高尾山口」改札口 10時
3. 予定  6号路 

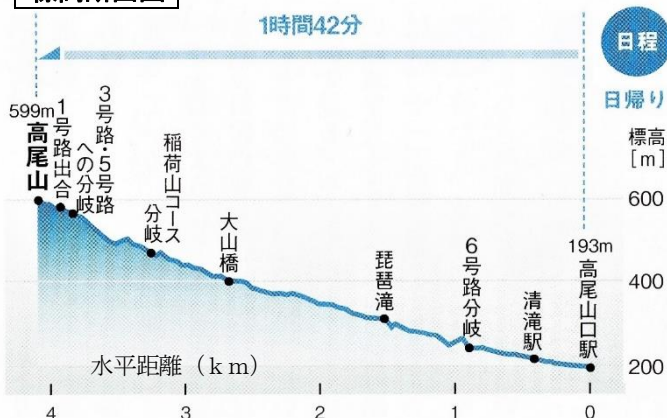


4. 歩行時間 実働2時間程度
5. 申込期限 4月26日(水)までにOB会事務局へお申込みください。

高尾山登山ルート図



標高断面図



参考メモ

森と水をテーマにしている 6 号路は、山あい、谷筋、沢沿いと三拍子揃っていて、別名「琵琶滝コース」と呼ばれ、高尾山山頂直下迄、沢音を聞きながら登る 3.8km の気持ちの良いコースである。特に夏はお勧めのコースで、強い日差しを避け快適な清涼感を味わいながら歩くことが出来る。水辺を好む草花に数多く出会うことが出来るのもこのコースならではの特徴である。特に大山橋手前の巨杉の上に着生するラン科の植物セッコク（5 月中旬から 6 月上旬に白い美しい花を咲かせる）が多く見られる。また、6 号路沿いの源流が浅川になって、やがて多摩川になると思うと感慨深くなることだろう。

（ヤマケイガイドブックより）

《実行記録》

1 タイムスケジュール（実績）

《往路（自宅→高尾山口駅）》

自宅 7:50 発→小田急線藤沢駅 8:20 発→町田駅 8:49 着→JR 横浜線町田駅 8:58 発→八王子駅 9:24 着→JR 中央線八王子駅 9:33 発→高尾駅 9:39 着→京王高尾線高尾駅 9:44 発→高尾山口駅 9:46 着

《高尾山登山》

京王線高尾山口駅前集合 10:00（準備体操）10:10 発→ケーブルカー清滝駅前通過 10:15→6 号路分岐・妙音橋通過 10:25→岩屋大師洞窟通過 10:35→琵琶滝通過 10:40→大山橋通過 11:05→稲荷山コース分岐点通過 11:25→3 号路・5 号路分岐点通過 11:55→高尾山山頂（大見晴台）到着 12:15→昼食・休憩／下山開始 12:50→1 号路・薬王院着 12:55→1 号路を下る→ケーブルカー高尾山駅着 13:25→ケーブルカー乗車 13:30 発→清滝駅着 13:36→懇親会 13:40～14:30→高尾山口駅着 14:35→解散

《復路（高尾山口駅→自宅）》

京王線高尾山口駅 14:47 発（特急）→新宿駅 15:43 着→小田急線新宿駅 15:50 発（快速）→藤沢駅 16:46 着→自宅 17:20 着

2 参加者

飯村 修 井上金光 大庭哲哉 高谷春雄 竹田隆雄 中村弥寿家 長谷場純親ご夫妻 堀永修造 門司和夫
若林澄治 村岡義章（事務局）星野義明 松石雄祐 以上 14 名

3 山行記録（写真集）

① 京王線高尾山口駅前集合／参加者メンバー確認・準備体操



高尾山口駅改札出口 9:54



高尾山口駅舎全景 9:54



駅前広場で事務局松石次長によるコースの説明・注意事項と参加メンバー確認 9:55



準備体操 ～10:00

② いざ出発！／1号路分岐点→ケーブルカー清滝駅→2号路分岐点・6号路入口



いざ出発！ 10:01



左 6 号路・右 1 号路分岐点へ向かう 10:03



ケーブルカー清滝駅前通過 10:04



洗心地蔵尊／七福神等多数の地蔵を祀る 10:08



地元の小学5年生のグループが追い越して行く



2号路・6号路分岐点に到着 10:12



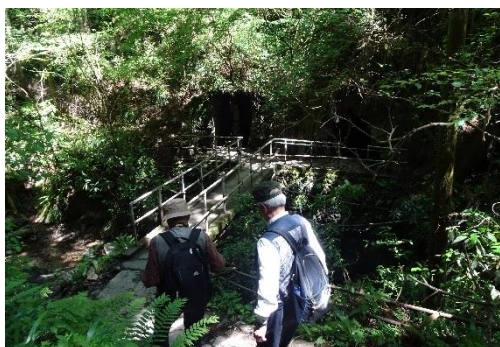
2号路6号路の分岐点／左の6号路へ



6号路入口に立つ「高尾山琵琶滝水行道場」の標柱



③ 6号路／岩屋大師・琵琶滝・硯岩・大山橋



「岩屋大師」(山道右手谷の沢に下りると対岸に二つの洞穴があり、左に仏像、右に祭壇が設けられている) 10:22



洞穴の前にて、堀永さんと 10:23



右の洞穴内部 10:22

弘法大師の「岩屋大師」伝説

弘法大師が高尾山にやってきたところ折からの雨が、嵐と変わり、大師に容赦なく襲いかかってきました。ともかく山を下り始めたもののこのままでは体が冷え切ってしまいます。岸壁ばかりの小道を行くと大岩の影に、ずぶぬれの姿でうずくまっている母子がいました。気の毒にと近づいてみると母の方は病気で、その子供が懸命に介抱しているではありませんか。なんとかこの子のために雨宿りが欲しいものよと大師が合掌すると、突然、目の前の岩屋が音を立てて崩れ始め、ぽっかりと洞穴があいてしまったのです。大師はそこで母子の冷えた体を温め、嵐の通り過ぎるのを待ったということです。岩屋の中は外の嵐から完全に遮断されて暖かく、見る間にこの母は回復していったということです。

(弘法大師にまつわる伝説は全国に数多くあるが、上記もその一つである。)



「琵琶滝」(滝行が行われる神聖な場所ので入場不可) 10:27



琵琶滝前のお堂



お堂の前 10:29



お堂横の広場にて(奥の建物は滝行者用か?) 10:29



元の山道へ／水行者の為の目隠し用の塀 10:31



狭い山道を進む 10:36



途中で小休憩 10:39



硯岩(粘板岩) 11:00



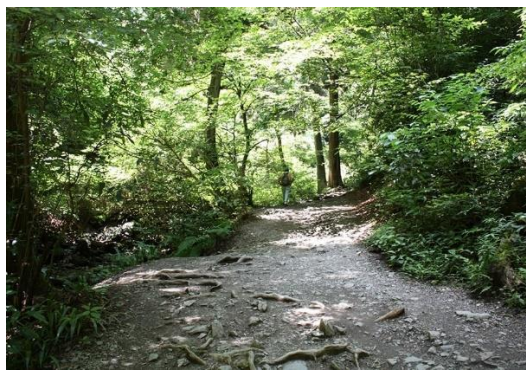
高尾山一帯は昔海底にあったという。地殻変動で海底の砂や泥が固められ粘板岩が出来たという。非常に硬く粒子が細かいので硯や基石に使われるので別名硯岩 or 硯石と言われる。



大山橋を渡る 11:07



その昔「大山詣」の為の「大山みち」が通っていたことから(現在は廃道)この名がついている。



沢の右岸側の山道を進む 11:07



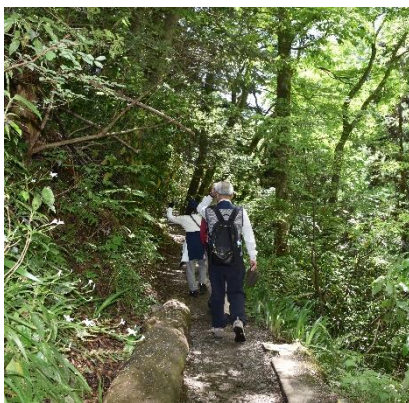
左手の橋を渡ると稲荷山コース 11:30



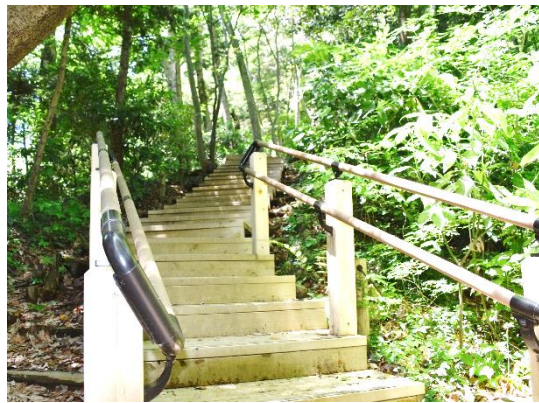
谷合の沢の飛び石のある道 11:31



沢の道を暫く進む 11:32



沢から離れて登山道へ 11:35



リニューアルされた木製の長い階段道の始点 11:44



2021.03.30.にリニューアルされた木製の階段道



(参考) かつての丸太敷きの階段道



階段途中で一休み



長い階段を登った終点の休憩広場



広場で全員記念撮影 12:40



山頂間近の1号路で先行の堀永氏と松石氏



山頂入口前の立派なトイレの建物 12:04



5号路から1号路合流点へ向かう道 12:01



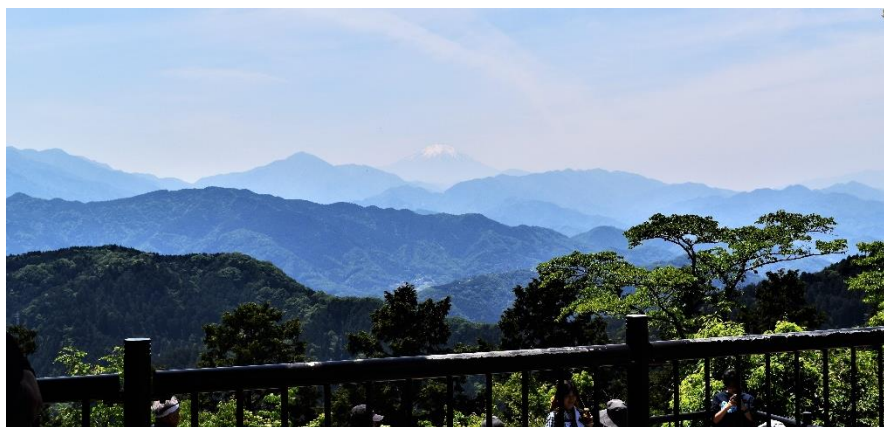
山頂の広場は大賑わい 12:10



山頂広場中央の標柱にて記念撮影 12:17



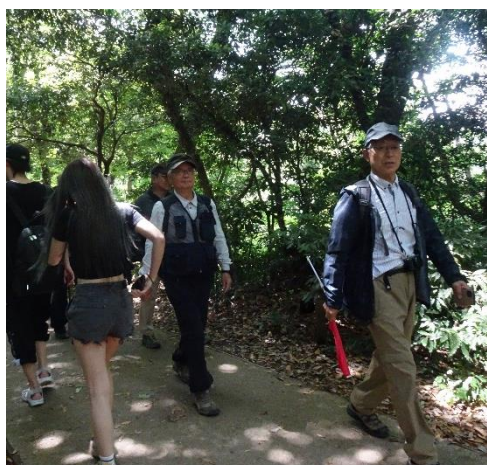
山頂の展望所也大賑わい 12:20



山頂の大見晴台にて中央の富士山、左手：丹沢山塊、右手：南アルプス、を望む 12:16



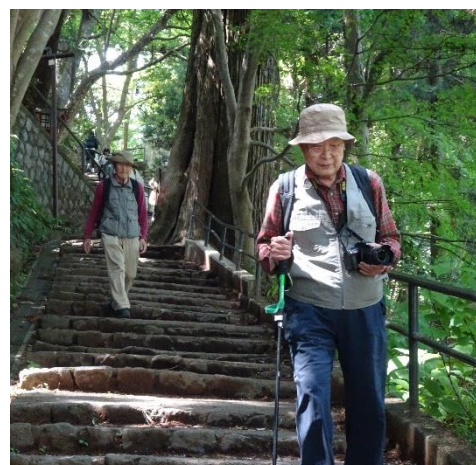
山頂の広場にて昼食休憩 12:24～



食事休憩を終えて下山開始 12:52



1号路下山途中 12:53



御本社をバイパスして御本堂に通じる道 12:58



不動明王を祀る薬王院不動堂 12:52



薬王院有喜寺 12:55



薬王院大本堂 12:56



仁王門下から大本堂を拝む 12:57



薬王院下の茶店・商店通り 12:58



薬王院山門 12:59



大小天狗像と六根清浄石車 12:59



願叶輪潜 (ねがいかなうわくぐり) 13:00



四天王門 13:01



たこ杉 13:17



ケーブルカー高尾山駅 13:25



ケーブルカー清滝駅着 13:34 乗車券



高尾駅近くの蕎麦店で登山打上懇親会／無事登山を終えたことを祝してカンパイ！ 14:08



お疲れさまでした！
年寄りにとってはツイ所もあったが、最後まで落伍者もなく、好天にも恵まれ、気持ちよく無事登山を終えることが出来て良かった。事務局の星野さん・松石さんには、色々と気配りやお世話を下さり有難うございました！